

若手ヘルパー活躍中!

社会福祉法人

大津市社会福祉事業団

第10回 事業所紹介

大津市社会福祉事業団のヘルパーステーションは、琵琶湖に沿って長く広がる大津市の北から南まで、7か所にあります。このうち堅田すこやかヘルパーステーションは7か所の内では北部に位置し、歴史ある町並みと新しい住宅が融合した地域にあります。常勤4名、パート20名のヘルパーは30代から70代の幅広い構成で、それぞれの年代の持ち味を生かした支援をしています。

事業団は昨年改正された理念「みんなを笑顔でつなぐ事業団」のもと、日々皆一丸となつてがんばっています。法人の役割のひとつである地域貢献では、年に数回、皆で持ち寄つたものをバザーに出して資金を集め、年末に越冬支援炊き出しを行い、ご好評をいただいています。笑顔は豊かな社会作りの第一歩。事業団の活動を通じて、利用者様、ご家族、職員、そして地域全体に笑顔の輪が広がるように努力しています。

いつか子どもがなりたい職業に

サービス提供責任者 西村 理恵 職歴11年



私は短大卒業後、大津市社会福祉事業団にあった福祉用具の展示場でアルバイトをしていました。何もやりたいことが見つからない私に、「ホームヘルパーになりなさい」と展示場の上司が強く後押ししてくださったこと、また母も介護職員だったこともあり、21歳の時にホームヘルパーの道に進みました。

21歳というホームヘルパーは珍しく、利用者

事業所概要

名称：社会福祉法人 大津市社会福祉事業団
堅田すこやかヘルパーステーション
所在地：滋賀県大津市本堅田3丁目17-14
業務の概要：介護保険事業、総合事業、障がい福祉サービス事業（居宅介護）、大津市の委託事業
直近の実績：介護：65名、総合事業：38名、障がい：24名、大津市の委託事業：6名
職員体制：管理者（サービス提供責任者）1名、常勤ヘルパー（サービス提供責任者）3名、非常勤ヘルパー20名

様からは「そんなに若くて大丈夫?」と見た目で判断され、不安に思われることがありました。その一方で「若い子が来てくれて元気が出るわ」と言ってくださる方もいました。さまざまな方に出会い、いろいろな経験をしながらいままで頑張ってきました。

まずあいさつし、家に入ったら作業前に必ずエプロンを付ける。こういったことから、ホームヘルパーという仕事を先輩ヘルパーより一から学びました。

エプロンひとつでも当時は自分なりに工夫していたのを思い出します。昔ながらの白のかわぼうしを着ることで、若さを不安に思われる利用者様に、見た目で少しでも安心していただけるように考えました。また、昔を懐かしんでくださる方もいて、会話のきっかけとなりました。そんな私も今では二児の母となり、仕事と育児を両立しながら忙しい日々を送っています。



▲訪問の様子

もう「若くて大丈夫？」とは言われることがなくなつたのは少し淋しいですが、今となつてはその時の苦勞が懐かしく思えます。

ヘルパーが訪問することで、利用者様や介護されているご家族に少しでも「変化」が見られ

た時に、この仕事の醍醐味ややりがいを感じます。ある利用者様が若くしてパーキンソン病になり、家でもできる手芸を始められました。ですが病状が悪化し、手に力が入らなくなつたと手芸道具を押し入れにしまい込んでおられました。

「家にいてもすることがない」とおっしゃるので、「少しずつでも再び手芸を始めてみてはどうですか？」と二年に渡つて声を掛けるも、「もうできない」とおっしゃるばかりでした。そこ

で私自身がその手芸を始めてみることにしました。わからないところを質問してみると、押入れから道具を出してきて自らやって見せてくださいました。「道具を元の場所に戻しておきましょうか？」と私が聞くと「出しておいて」と

言われ、そのときはとてもうれしかったです。私たちが関わることで、その方の生活が少し

でもよい方向に変化し、笑顔が増えることを願っています。また、ホームヘルパーの仕事が

楽しくやりがいのあるものだということを子どもたちにも少しでも伝えられたら、いつも思い

ながら仕事をしています。いつの日か、ホームヘルパーが子どもたちになりたい職業のひとつになればと夢見ながら、この

大津市社会福祉事業団で温かい心と笑顔を皆様にお届けしながら、これからも元気に楽しくホームヘルパーの仕事をしていきたいです。

年代を超えて

何でも話せる雰囲気作りを

管理者 左子 真永



西村理恵さんは若いですが、細やかな気配り

が随所にあり、利用者様や仲間からも信頼されています。当事業団は「笑顔」を大切にしています。西村さんの笑顔とあいさつは格別で、事務所が華やいだり和んだりするから不思議です。プロ意識も強く、私たちが感心することもあります。時には仕事や子育てに悩んだりすることもあります。時には先輩たちはどちらも経験者なので、声をかけて皆で解決しています。年代を超えて、何でも話せる事務所の雰囲気作りを努めています。

利用者様は彼女の機敏な働きぶりを見ながら、ご自身の若い頃を重ねてうれしそうに話してくださいませ。「私もあんな時があったわ」順番ですよね」「そうやね」と最後は笑って終わります。

人は誰でも老いていき、少しずつできないことが出てきます。私たちは利用者様のできないことを支援させていただきます。

ヘルパーは、自立に向けてがんばっておられる利用者様のそばで、利用者様の人生の一部を共有させていただく素晴らしい仕事です。「こちらが仕事をさせてもらってありがたいと言えようかな仕事があった」と私たちの先輩から教えていただきました。先輩から教えてもらったこと、自己研鑽したこと。経験を積んで引き出しをたくさん増やし、次世代に引き継いでもらいたいと思います。